

『中学校統合に関する対話集会』会議録

- 1 日 時 令和4年6月23日（木）午後7時
- 2 場 所 鯉沢中学校 体育館
- 3 出席者 町長、教育長、秋山職務代理者、中村教育委員、大森教育委員、望月教育委員、教育総務課長、中学校統合準備室長、志村、乙黒、石部
参加者 91 名
- 4 資 料 別紙のとおり
- 5 内 容
 - ①開 会 教育総務課長
 - ②教育長挨拶
 - ③町長挨拶
 - ④教育委員紹介
 - ⑤説明事項 齋藤室長
 - ・これまでの中学校統合の経過
 - ・アンケート結果の概要について

【質疑】

町民（鯉沢中区）：

中学校の統合はなぜ必要なのか。どうして統合をしなければならないのか。その辺の説明経過を見ると、どの程度の児童、生徒、教職員のみなさんにどの程度の説明がされたのか、されていないのか疑問に思います。町でこういうことで説明をしてきたという経緯があれば、ぜひご回答をお願いします。

事務局：平成30年11月に中学校のあり方検討委員会を設置しました。

この検討委員会の中では小中学校のあり方について検討をしていただいたところ
です。それから、この検討委員会については教職員の皆様に提言書をいただきました
て、その提言書に基づき教育委員会で望ましい学校というのはどういうものかとい
うことで、改めて中学校のあり方懇話会を設置し、学校のPTAの皆様や、地元
の方、同じく教職員の皆様に意見交換を行っています。それに基づき第2次の学校
規模適正化基本方針を策定し、策定前には、その方針案についてパブリックコメン
トを実施し、町内の小中学校の全児童生徒の保護者の皆様にも、案を配布し周知を
図ってきました。

また、なぜ必要かということですが、今生徒の数が非常に減少してきており、中
学校においては、多様な人間関係を築きながら、協調性や社会性を育む必要があるこ

とから、より大きな学校にしていくべきだということで、統合の必要があると考えています。

町民（鰺沢中区）：

勉強不足で、戻ったような形で質問をさせていただきましたが、そういうことで周知をした、という理解をさせていただきました。

⑥対話

教育総務課長：

ここで事務局から説明がございました第2次学校規模の適正化方針の内容中学校における現状と今後の推移、そういったアンケート等の内容も踏まえ、歴史や伝統を併せ持つ新たな中学校の設置についての意見を伺っていきます。

町民（駅前通）：

私の意見を言わせていただくと、鰺沢中学校に鰺沢小学校を入れて、小中一貫校にします。そうすると、中学校にいるALTの先生が小学校を行ったり来たりすることがなくなり、子供たちも落ち着いて学ぶことができます。小学校の方の借地料もなくなります。こういう形はどうでしょう。

また、増穂中学校へ行って悩む子供もいると思います。そういう子供たちは鰺中に残って勉強するため、鰺沢中は鰺沢中学校で置いてください。

町民（鰺沢中区）：

中学校の統合には賛成です。さきほど事務局からの説明があったように、幅広い人間関係の中で多人数の中で育む社会性、切磋琢磨するという点でメリットの方が大きいと思います。大規模小学校、小規模校にそれぞれ一長一短だと思いますが、大規模校ならではのメリットを活かしてほしいと思います。

町民（鰺沢中区）：

今回対話を聞くという形になっていますが、町でどのような形で、どういう方向性で考えているのか聞かないと、私たちは意見を述べるできません。町が最初のように増穂商業高校をリフォームするとか、増穂中学校にとりあえず統合させるとか、様々なうわさを聞きます。だけど、町がどのくらいの考えを持っているのか知らないと、意見を述べるできません。教えてください。

町長：基本的には全て白紙に戻しました。この対話集会をきっかけにまた積み上げていく。そうは言っても、もう可能性は限られていると思います。今おっしゃったとおり、商業の建物そのまま使うのか、新築にするのか、増穂中学校に行くのか。先ほどご

提案いただいた中高一貫でやるのか。様々なパターンがあると思いますが、場所としては、増中、鰯中、増穂商業、増穂中学校、それに新築あるいは改築というパターン。皆さんのご意見をいただきながら、方向性を見出していきたいと思っております。まず第一に子供たちの教育環境ですが、やはり町がやるものですから、財政的な部分も勘案しながら、皆さんの意見とどれだけ近づけることができるのかということ。まずは子供たちの教育環境第一ということで考えていきたいと思っております。

町民（中区）：

先ほど小中一貫校のお話がありましたが、検討をしたのか、また何がネックだったのか教えてください。

事務局：小中の一貫は最初の検討会の中で議論されました。

第2次適正化基本方針の中では、多様な人間関係を築きながら、というところを重要視しており、鰯沢小、中学校が小中一貫で一緒にやっていった場合、やはりどうしても中学の3年間は多様な人間関係に触れるということとはできないのではということで、小学校の6年間についてはそれぞれの規模で学んでいく、それは今までどおり、ただ中学校については大きい人数の中でいろいろ切磋琢磨できることを目指し、最終的に保護者や先生方に意見を聞く中で、この第2次適正化方針の中で中学校については両校の伝統を引き継ぐ形で新たな学校を作っていくことが望ましいとしました。

町民（中区）：

統合には賛成です。ただゆくゆく小学校も統合する可能性もあるので、個人的には小中一貫に、小学校、中学校を同じ敷地、増穂商業高校跡地に建てるのであればリフォームをする必要があると思います。増穂商業高校跡地に新設してから統合することが希望です。

防犯面からしても児童の防犯の強化をしていただきたいです。

なぜかという、先日引き渡し訓練をしました。鰯沢は保育所、小学校、中学校と合同でできます。それは保護者にとって大変助かります。保護者が確実に確保していくとなると、そういう方法を取っていただけるとすごく助かります。

保護者と学校の連携がなっていないということがあるので、連携が取れるような方向性で統合を進めてほしいと思います。

事務局：統合するのであれば、保育所まで含むような形をとれると保護者も安心だと。また、この統合についてもう少し学校保護者の中でも情報をうまく共有しながら考えて

いきたいという意見要望を承ります。

町民（中区）：

確認と要望をお願いします。

基本的に統合に関しては賛成です。このアンケート結果について、まず教育委員のみなさんのご感想、そして町長さんのご感想をお聞きしたいです。

要望として、会議に足を運んで意見をなかなか言うことができない人もいますが、出た意見はぜひみんなで共有をさせていただきたいです。

教育長：アンケートについては一つ一つを出していただいた、大切な意見だと思っています。

そういう意味で、それをできるだけ漏らさず吸い上げようと、教育委員会ではすべての意見をアンケート結果として載せています。ぜひそれらも全てアップしてありますので、パソコン等がない場合であれば、教育委員会に紙面で置いてありますので、閲覧していただけたらと思います。

何よりもこの一つ一つの意見が皆さんの大切なご意見ですので、できるだけ生かせるような形の中で、色々な条件がありますので、もちろん無理なこともあるかもしれませんが、意に沿わないこともあるかもしれませんが、大切なご意見としてできるだけ添えるように一生懸命頑張っていきたいと思っていますので、またぜひとも皆さんの大切な意見をたくさん出していけただけると、ありがたいと思っています。

町長：ありがとうございます。町長としての意見を述べさせていただきます。

7割がた統合に賛成ということでご意見をいただきました。これは方向性として貴重なアンケート結果だと思っています。

令和5年開校を期待してた子供たち。先送りをしてしまったことは、非常に申し訳ないことをしたなという部分と思っています。また少数意見の意見こそ、いかにその方向性の中で折り合いをつけて組み込むことができるか。そのための対話だと思っています。ですから細かい意見も皆さんの意見を合わせて、最終的に方向性を決めていきたいと思っています。

事務局：アンケート結果は、町のホームページの中で細かく集計を行っております。

町のホームページでは地域の方々のアンケートの内容も掲載する予定ですが、広報でも毎月お知らせをしています。

また、パソコンを見ないという方々もいると思いますので、書面で教育委員会において閲覧もできます。

事務局：今回の対話集会でいただいたご意見についても、議事録にしてホームページに掲載をする予定です。また、広報にも抜粋した形ですが、掲載も予定をしております。そうした形で皆さんと情報共有ができればと考えております。

町民（中区）：

ありがとうございます。教育委員さんにも簡単に結構ですので伺えますか。

秋山教育委員：

秋山です。今のアンケート結果の感想ですが、70%ぐらいがほぼ賛成ということで、皆さんがある程度納得できてるのかなと思っています。ただ、この少数意見の中で理解できない、どちらとも言えないという意見もあるということが、細かくどんな内容なのかということを確認しつつ、その意見を取り入れた上で統合等について考えていきたいと思っています。

中村委員：

私が常に思ってるのは、教育委員会と私達の仕事は、最大公約数を求める仕事ではありません。要するに、例えば意見の中で90%の賛成があったとしても、残る10%にどう光を当てていくかが、我々教育委員の仕事だと思って、このアンケート結果を読みました。

この統合にはいろんな意味があると思います。鯉沢中学校が伝統ありますし、このまま残して、小中一貫も、という考え方も一つあると思います。それはもちろんこれから委員会としては論議していきますが、ただ、私個人と言わせてもらえば、やっぱりクラス替えがあった方がいい。

もう一度繰り返します。私達は最大公約数を求めているのではなくて、小さな意見にも光を当てながらやっていきたいと思っています。

この辺、アンケート結果は参考にさせてもらっていますが、このアンケート結果を全て正しいものだって受ける気もありません。

大森教育委員：

今日はこのように大勢の皆様が真剣に論議を交わしていることは素晴らしいことだなと思いながら聞かせていただきました。

私も少数意見も大事にしながら、この対話集会を会を重ねていければ、一つの方向に向かっていくのではないかと思います。それに一番基本は子供にとって良い方、良い状況はどんな状況なのかっていうことを、一番基本に据えながら、統合に向けての話し合いを進めていければよろしいかなと考えております。どうぞ、あの真剣に論議して、良い方向を見いだしましょう。

望月教育委員：

僕が住んでいる地域でも、小学校が統合でなくなっていました。やはり地域から学校がなくなるっていうのは地域の人にとってはやっぱり寂しい状況です。

地域にとっての学校の存在というのが大きいとは思いますが、子供たちのことを考えてあげることもやっぱり大きな要素だと思います。

子供たちのその適応能力、その環境に慣れていく能力は非常に強いものがあるように思います。ですので、事前のいろんなあの交流事業等の工夫をしながら、心配や不安は解消していくことが大事であると思います。

それから、統合に関しての保護者それから町民の方々の意見については概ね理解できているという考えで、中学生のことを考えますとある程度の集団の中で、学んだり、それから人間関係を作る部活動を一生懸命やったりというふうな環境を作ってあげるっていうのも大事かなと思います。

町民（鰯沢中区）：

ありがとうございます。教育委委員の皆様が結構長い経験の中でそういう思いがあったということが知れてよかったですし、住民の声を代弁していると感じました。大変失礼だとは存じましたが、丁重にお答えいただきありがとうございます。子供たちがこの町にずっといてくれたら、老いていく私にとってうれしいですが、もし子供たちがこの町から羽ばたくときに、僕私が育った富士川町はこんな風に考えてくれていてよかったよ、新しい学校ができたよ、みたいなことを、はばたいた地域で語ってもらえて羨ましがられるような、そんな町になってほしいし、そのときこの検討内容とても素敵なお内容だと思っています。これからもまだご報告をお待ちしています。よろしく願います。ありがとうございました。

町民（鰯沢中区）

中村委員さんの言葉に、胸が熱くなりました。非常にいじめに関しては、保護者が一番心配していることで、クラス替えに関しては、鰯中3年、鰯小6年、保育所入れば13年ずっと同じです。そのクラス替えがない中で、クラス替えがあればいいと思ったこともありましたが、うまくいっている鰯中の子たちが増穂中に統合して、すごく心配です。合併は賛成です。やはりいっぱいの子の中で、学力も上がるだろうし、コミュニケーション能力も上がるし、嫌なこともあるけどいいことがあると思うので、ぜひまた議論していただきたいのですが、増穂中の色の中に鰯中の子が入るのではなく、新しい新設の中学で、まったく新しい状況で、いろんな対応や考え方を変えるなかで、新しい中学がスタートしてくれればいいと思います。

事務局：はい、ご意見ありがとうございました。

ただいまの意見の中で不登校の生徒の人数の調査は毎年行っており、おそらく7月になると県がまとめたものが出てきます。富士川町でも、結果を元にしながら、今後どうしたらいいかというような検討をしていく予定でおります。

不登校の子たち様々な理由を抱えております。いじめが起因するものもありますが、本人もわからない中で、学校に行きたくない。または行こうという気持ちが起きてこない。非常に難しい面を持っております。不登校の子たちがなるべく学校に来れるような体制を町と県での先生方も一緒になりながら、この不登校の子供たちの対応を取っています。

町 民：できれば小さい中学校を残してもらいたいです。

必ずしも大きい中学校になじめる子ばかりではなく、選べる方がいいと思うからです。南小はとても小さい学校ですが、いまのところいじめとかもなく、人数が少ない分、保護者同士も交流して、先生とも話を重ねて、子供の主体性で選べる学校を残してほしいと思っています。本当にいろんな子がいて、集団に合わないこともあるので、選べたらいいと思います。

事務局：ただ今のご意見は、小さい学校もいいところもあり、保護者や子供たちから見れば、選択できることが良いのではないかという意見でよろしいでしょうか。

町民（青柳町区）：

これから統合に関してメリット、デメリットも出てくると思いますが、子供たちが活躍できる場を作っていただけたらと思います。子供たちがワクワクドキドキできる統合であってほしいと思います。近隣の市町村から富士川町に通わせたいと思うような学校になってほしいと思います。

町民（鰯沢中区）：

望月町長が開かれた行政ということで、可能であれば中学校の統合の話し合いを見せてほしいです。議会のように一般公開をしながら、不満の声を、何をしているんだという声を少しでも消せるように、公開があってもいいと思います。

町 長：貴重なご意見をいただきました。動きが遅いというか、もっと発信力をつけると、私の開かれた町政という部分で、会話と現場主義、協働によるまちづくりということで、そこをもっと前面に出せというご意見だと思いました。
アンケート調査と対話集会でのご意見を集約して、誰1人取り残さずに、みんなの

意見を聞いて、次の段階でしっかりと方向性を出していきますので、それについてまたご意見をいただく、そして積み上げていくとやり方をしたいと思っています。

事務局：ありがとうございました。教育長ご意見よろしいですか。

教育長：富士川町の未来を担う子供たちのために、真剣な思いや意見をたくさん出していただきありがとうございました。

今日の対話集会では、まずは適正化基本方針に示されている、中学生にとってよりよい教育環境の整備の必要性ってということについて、つまり、「新たな中学校の設置」に共感できるかどうかということ在意思統一をしていかななくてはならないと思います。設置については、理解できる、概ね理解できるっていう部分が数としては示されております。もちろんこの中には止むなしという方もいらっしゃると思いますが、これまでの皆さんの話し合い、討論のことや、アンケートの結果から、新たな中学校の設置については、受け入れていただけるとの共通理解を、まずこの中でさせていただきたいと思います。

事務局：教育長から意見がございましたが、この統合に向けての意見を伺っていきたくて考えておりますが、よろしいですか？

町民（中区）：

いまの教育長の意見ですが、あまりにも急ぎすぎるのではないのでしょうか。決して私は統合に反対ではありません。ただ、ここで賛否を問うというのは時期尚早だと思いますし、いまの少子高齢化の中で時代の流れかなという思いです。アンケートでいうと、理解、概ね理解を示そうという方向も、マイナスな意見もあるわけです。そのマイナス意見がいい方向に向かう議論を多くなさっていただいて、それではもう統合は必要だとなってからでも遅くないと思います。財政的にも、国の交付税にも学校がいくつということが入ってくるものもあると思うんです。そういうものを見ながら、統合に向けて進んでいただきたいと思います。

事務局：ご意見ありがとうございました。この統合に向けての意見を伺い、まさに今の意見が、時期についてはいろいろ意見を聞いてから行った方がいいではないかということで、承りたいと思います。

今までは統合そのものについて意見を聞いてきましたが、先ほどからちらほら感想や要望の中にも出ていますが、時期や場所についても再度、アンケートをとりながら、それぞれ皆様の考え方を聞いていきたいと思っています。

町民（中区）：

自分は統合に賛成で、財政的な町の事情もあるとおもいますが、要望としては、新校舎を作った上で新中学校を作ってほしい。そういう要望です。新しければいいという問題ではないんですが、気持ち的には新しい中学校は、新校舎にしてほしいなと。改修ではなくて。新しい気持ちでスタートしてほしいという要望です。

事務局：ありがとうございました。校舎については、古い校舎を改修よりも新築を望みたいという意見で承っておきます。

他には何かご意見、また要望等はございますか？

町長：ありがとうございます。古い校舎よりも新しい校舎の方がいいということでございます。まさに子供たちの教育環境、それは新しい校舎のほうがいいですね。私もそう思います。しかしながら先ほど冒頭お話しした通り財政的な部分。新しいものを作るときに財政的にどのようになるのか、しっかりと今提案している古い校舎をお金をかけて直した方がいいのか、新しい校舎を建てた方がいいのか、ちょっと財政的なシミュレーションを、ご意見いただきましたので、しっかりしたものではなくてもザクツとしたもので、それで可能性を探ってみたいと思っております。貴重なご意見ありがとうございます。皆さんどうですか古いより新しい方がいいですね。私もそう思います。財政的にいけるかどうか。そこをちょっと探らせて、また公表させていただきたいと思っております。以上でございます。

町民（駅前通り）：

今日はありがとうございます。子供たちの心、思いだけは大切にしていきたいと思えます。

⑦閉会